

市報

やまぐち

COMMUNICATION PAPER YAMAGUCHI

主な内容

本号は16頁です

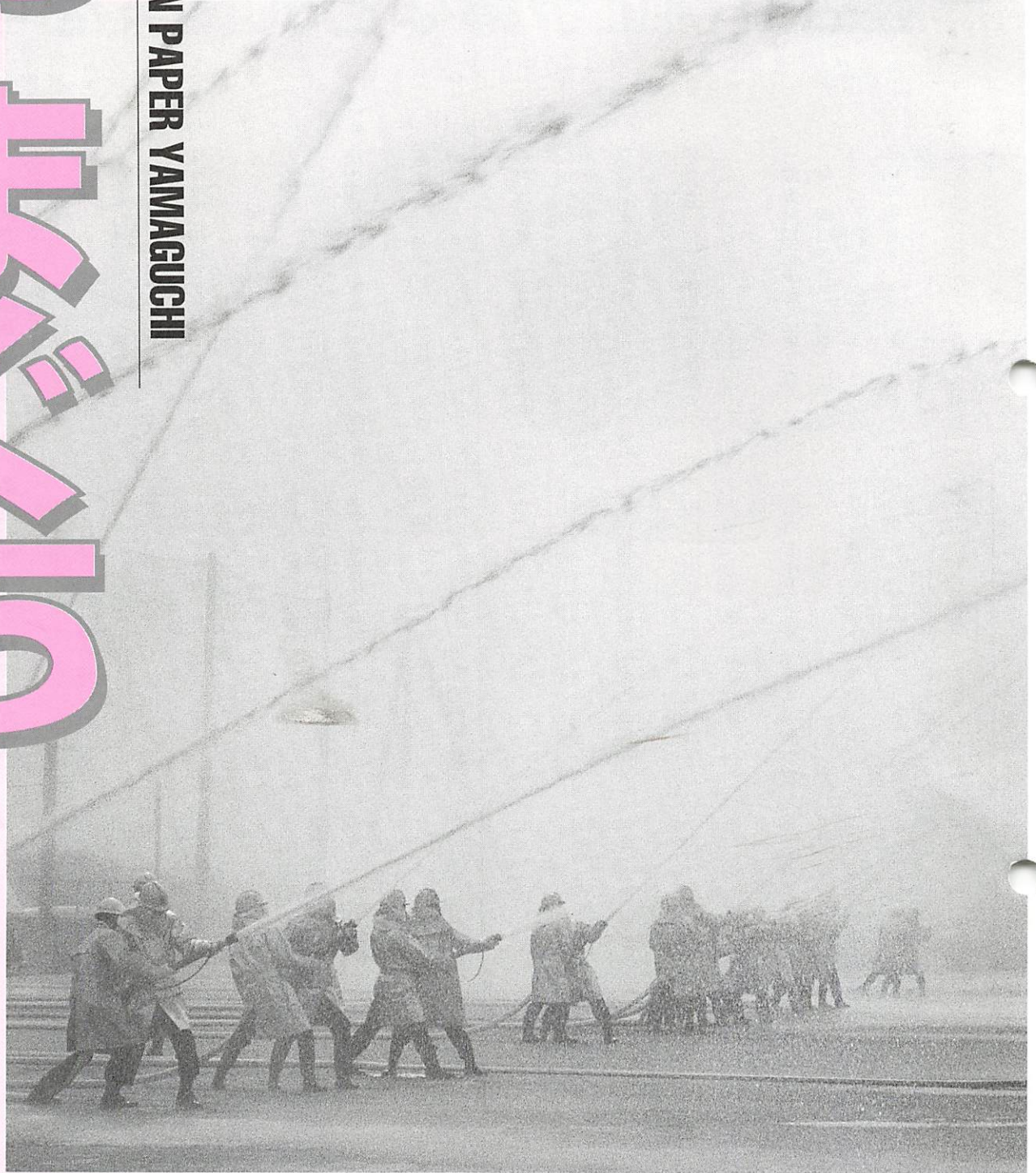
- 第6回山口市議会定例会
- 16地区めぐり⑫「鑄銭司」
- 第3回中原中也賞 募集結果

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況《12月》

- 発生件数 83 (累計 888 / 前年比+182)
- 死亡者 1 (累計 11 / 前年比 +7)
- 負傷者 95 (累計 1,066 / 前年比+259)



今年も水の勢いのように—消防出初式—

恒例の山口市消防出初式が1月4日、山口・小郡消防組合消防本部職員、16地区分団員、婦人防火クラブ員など約430人の参加のもと、山口南総合センターで行われました。朝まで降っていた雨もあがり、式典終了後に運動広場で行われた屋外行事の締めくくりは9台の消防車両からの一斉放水。火災現場での放水は少ないことを願いながらも、水の勢いのように今年も山口市は元気いっぱいありますように…。

1/15

1998年No.1212

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成10年1月1日現在、下段は昨年1月1日との比較)



138,406人
+1,215人



66,210人
+505人



72,196人
+710人



53,952
+1,011

12月定例市議会 一般会計補正予算など30議案を可決

平成九年度第六回市議会定例会は、十二月十九日、すべての日程を終え閉会しました。初日（十二月三日）に二十六件、最終日に四件の議案が提出されました。可決された議案は予算四件、条例七件、事件議決十九件、合わせて三十件です。

予算

一般会計補正予算（第二号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四億三百六十九万円を追加し、総額は四百十八億二千二百五十七万七千円となりました。

主なものは次のとおりです。

民生費：重度心身障害者福祉医療費として五千三百万円

衛生費：合併処理浄化槽設置整備補助金として七千八百三十三万八千円

農林水産費：地域調整推進事業（とも補償）補助金として一億五千五百四十六万二千円、新規就農条件整備事業補助金として二百五十万円

消防費：消防施設整備事業費として一千三百八十九万円

一般会計補正予算（第三号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ七千二百九十八万七千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ四百十八億九千五百五十六万四千円としました。

これは、職員の給与に関する条例の一部改正に伴う人件費の追加によるものです。

そのほかの補正予算

□平成九年度山口市下水道事業特別会計補正予算

□平成九年度山口市自動車運送事業会計補正予算

条例

□議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

□山口市税条例の一部を改正する条例

□山口市学校給食共同調理場設置条例

□山口市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

□山口市空き缶等の散乱防止条例

□山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

□職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

事件議決

□平成八年度山口市一般会計歳入歳出決算の認定について

□平成八年度山口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

□平成八年度山口市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

□平成八年度山口市同和対策資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

□平成八年度山口市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

□平成八年度山口市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

□平成八年度山口市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について

□平成八年度山口市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

□平成八年度山口市特別林野特別会計歳入歳出決算の認定について

□字及び町の区域の変更等について（二件）

□字及び町の区域の変更について

□教育用パーソナルコンピュータ

タの取得について

□固定資産評価審査委員会の委員の選任について（任期満了に伴うもの）

石川義昌氏（67・仁保）

古屋重男氏（70・宮野）

中原 泉氏（73・吉敷）

坂根 忠氏（58・大歳）

矢儀良三氏（71・嘉川）

岩本芳彦氏（76・佐山）

報告

□平成八年度山口市一般会計継続費の精算報告について

□損害賠償の額を定めることに関する専決処分について

山口市長選挙および山口市議会議員補欠選挙

五月十二日の任期満了に伴う山口市長選挙を次のとおり行います。

なお、現在欠員が生じている山口市議会議員の補欠選挙も併せて行います。

○選挙期日 四月二十六日（日）

○告示日 四月十九日（日）

○問い合わせ
山口市選挙管理委員会事務局

（☎ 22-4111）へ

第3回中原中也賞

全国からの応募総数は228点



中原中也賞に寄せられた詩集

公募作品については、長野県、富山県、鳥取県、長崎県を除く四十三都道府県、二百一十一人から寄せられました。最多応募は東京都で五十二人、

計二百二十八点。寄せられたのは公募作品が二百十七点、推薦作品が十一一点の計二百二十八点。全国的自治体、図書館、文学館、大学へポスターの掲示によるPRや、出版社、同人詩などを通じて、昨年十二月二十日(必着)までの間、推薦と公募による作品の募集を行いました。

中原中也賞は新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に贈られるもので、今後活躍が期待される、将来性のある詩人を選ぶ、新人賞的な性格をもっています。

三回目の今回は平成八年十二月一日から平成九年十一月三十日までに刊行された現代詩の詩集が対象。

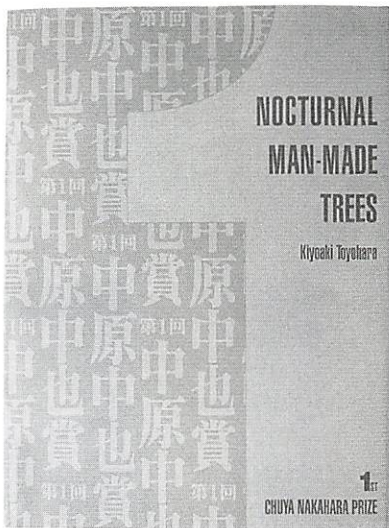
第三回目の今回も昨年十二月二十日まで、推薦と公募による作品の募集を行ったところ、全国から二百二十八点の作品が寄せられました。二月二十一日に湯田のホテルで選考会を開き、受賞作一点を選び、発表します。贈呈式は四月十一日、湯田で行われる予定です。

受賞作品の英訳本

中原中也賞の正賞は、受賞詩集を英訳し、出版することです。

第1回中原中也賞の受賞詩集『夜の人工の木』(著者：豊原清明)は、英語題『NOCTURNAL MAN-MADE TREES』として翻訳され、既に海外の日本文学研究機関や大学の図書館へ送り出しています。英訳本は、市内の各公民館や図書館、高等学校へも置いてあります。

なお、第2回受賞作品『もしくは、リンドバグの畑』(著者：長谷部奈美江)の英訳本はこの3月末に完成の予定です。



第1回中原中也賞「夜の人工の木」の英訳本

次いで神奈川県、大阪府の十二人でした。県内からは七人、市内からは三人が応募されています。推薦作品については、出版社、詩人など六十六か所に推薦依頼をしました。年代別では四十代が最も多くて五十一人。最年少は大阪市の十七歳の男子高校生、最年長は奈良県の八十二歳の女性でした。同賞の選考委員は、荒川洋治氏(詩人)、北川透氏(詩人・梅

光女学院大学教授)、佐々木幹郎氏(詩人)、佐藤泰正氏(梅光女学院大学学長)、中村稔氏(詩人・弁護士)、吉田照生氏(城西国際大学副学長)の六人。今年二月二十一日、湯田のホテルで選考会を開き、推薦と公募の中から受賞詩集一点を選び、発表。四月十一日に湯田で贈呈式が行われる予定です。受賞詩集は英訳本として出版され、副賞として百万円が受賞者に贈られます。

瑠璃光寺五重塔と

ひわだぶき

檜皮葺 屋根

2月からはじまる瑠璃光寺五重塔の檜皮葺屋根葺き替え工事。

しばらくの間、工事のためのシートで塔全体が見えなくなるのはちょっとさびしいけれど、工事完了の楽しみを胸に、この檜皮葺屋根について考えてみました。

ひわだぶき 檜皮葺屋根とは

一言で「屋根」といっても、地域や時代によってその考え方は異なります。

我が国においては、雨期があるばかりでなく、台風など雨とともに大風が吹くため、屋根についての様々な工夫がみられます。また、屋根材も雨、風、雪、暑さや寒さに対抗するために多くの種類が生まれ、工法も工夫されました。

檜皮はその昔、「草」や「杉皮」「板」と同様に、屋根を葺く材料として手近に得られたため、よく使われたと考えられています。

しかしながら、檜皮葺の屋根は、その寿命が二〜三十年からせいぜい五十年であるため、たび重なる葺き替えの手間とともに、檜皮が高価な材料であるために、多くの家屋や仏寺は、その後長い間に屋根のほとんどが瓦葺になっていきました。

現在の檜皮葺屋根は、長さ七十五センチの檜皮を葺足約一・五センチで葺き、三十センチごとに下地に固定しているのが一般的です。



現在の屋根の表面

瑠璃光寺五重塔の 屋根はなぜ檜皮葺？

大内盛見が、戦死した兄義弘の菩提を弔うために建立された瑠璃光寺五重塔。その大きな特徴のひとつが屋根が檜皮葺であることです。現在、残っている檜皮葺屋根の五重塔は奈良の室生寺と長谷寺、宮島の厳島神社と瑠璃光寺の四基です。

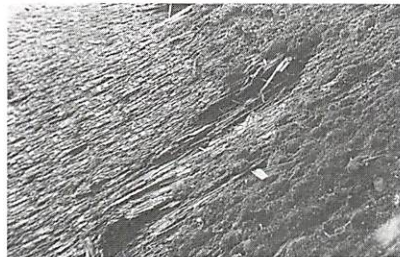
瑠璃光寺五重塔の屋根は檜皮葺の落ち着いた色調とあいまって重厚な趣きがあり、しかもカーブがなだらかでも美しくみえます。

昭和55年（1980） 五重塔屋根葺き替え工事

*同様の葺き替え工事が
この度実施されます



足場組立作業の様子。当時はすべて木材で組んでいました。五重塔は五層の屋根が一層の屋根の70%と、上にいくほど屋根が小さく、塔が細くみえるようになっているため、足場を組むにも工夫が必要です。また、軒が長い分、下層にいくほど屋根の傷みが早くなります。



葺き替え前の傷んだ屋根。屋根は特に軒下の傷みが大きく、この度も同様の傷みが見られます。最近では酸性雨などの影響からか、傷みが早くなっているようです。



屋根葺き替えの様子
葺足1.5センチで丁寧に葺いていきます。



この度の工事は、下層から四層目までの軒先約1.5メートル部分を新しい檜皮に葺き替えるのが主な内容です。

瑠璃光寺五重塔は、昭和にはいつて以降2回大きな補修工事を行っていますが、（昭和27年、55年）それ以外にも小さな維持補修工事が行われています。

最近では、大きな被害のでた台風19号（平成3年）で、屋根がひどく傷んだため、一部葺き替え工事が行われました。



この度使われるものと同じ檜皮。長さは75センチ、幅15センチ、厚さ0.9センチが標準的な大きさ。

瑠璃光寺五重塔の屋根はなぜ檜皮葺なのでしょう。

「五重塔は当初、この地にあった香積寺（後に萩に移される）の境内に建立されています。この寺の屋根が檜皮葺か草葺であったことは十分考えられるので、その屋根とあわせてことは推測できます。」（市教委文化課）

瑠璃光寺資料館の永久鐵哉館長は次のように解釈されます。

「大内氏が美的センスにとっても優れていたんだと思います。義弘の菩提を弔うために美しい塔を建立したいという思いから、塔の形などを考える中で、檜皮葺の屋根になったのではないでしょう。高価な檜皮をこれだけ使うことができたことだけでも、当時の大内氏の隆盛ぶりが分かりますね。」

護られてきた 瑠璃光寺五重塔

二月から始まる屋根葺き替え工事を待つ瑠璃光寺五重塔。

国宝の指定以降は、文化庁の指導のもとで屋根葺き替えや補修工事などが行われていますが、それまでは、塔を後世に伝える

ために当時のたくさんの人たちの努力がありました。

大内氏が滅び、防長二州を管轄した毛利氏により守られていた塔も、毛利氏の城地が萩に移ったのとあわせて香積寺の建物が萩に移ってからは、地元の熱意で五重塔の移転はまぬがれたものの、その後瑠璃光寺がこの地に移るまで塔を護る寺もありませんでした。田園の中にはほとんど建っていた塔も創建から二百余年が経過して傷みが激しくなり、その現状を知った毛利綱広が自ら経費を集めて大修理を実施、幕末まで毛利氏の管理のもとに護られてきました。

明治にはいり、三十六年に国宝に指定される前も、塔の傷みを見兼ねた人たちが立ち上がり大募金活動を実施、多くの経費を集め、明治十九年には補修工事が行なわれています。

国宝に指定後は文化庁の指導で解体修理や幾度か屋根葺き替え、修復工事が行われています。

この度の屋根葺き替え工事は、七月には完了し、屋根が美しく葺き替えられた五重塔が、秋の観光シーズンを前にお目みえします。

市税等の 郵便局での口座振替が 4月1日から始まります

山口市税等口座振替依頼書

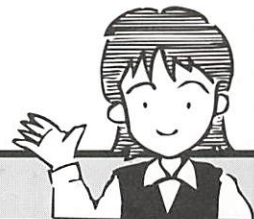


◆ 問い合わせ
市収納課管理担当
(☎) 22-4111
内線 2281・2
282)へ

- ◆ 受付開始 1月16日（金）
- ◆ 申込方法
山口市内・小郡町内の郵便局、または市収納課に口座振替依頼書（手続書類）が備え付けてあります。貯金通帳と通帳届出印をもって、各窓口へお越しください
- ◆ 口座振替ができるもの
固定資産税・都市計画税・市県民税（普通徴収のみ）、軽自動車税、国民健康保険料、国民年金保険料
- ◆ 引き落とし日
各納期の末日（再引き落としはできませんので、貯金残高にご注意ください）
- ◆ 引き落とし開始日
申し込まれた月の、翌々月以降の納期の末日から（金融機関は、申し込まれた日の翌月以降の納期の末日から）
- ◆ 金融機関でのみお取り扱いしていた市税等の口座振替が、4月1日から、郵便局でも始まります。
- ◆ 申し込みは1月16日から、市役所などで受け付けます。
- ◆ ますます便利になった口座振替を、この機会にどうぞご利用ください。

口座振替なんでもQ&A

- Q 1** 郵便局で口座振替ができるということは、今度からは郵便局の窓口でも税金を納めることができるのですか？
- A** 申し訳ありませんが、郵便局での取扱いを開始するのは口座振替のみです。現金で納付を希望される方は、今までどおり金融機関の窓口で納付してください。
- Q 2** 貯金口座にお金を振り込むのを忘れていたため、引き落としできませんでした。どうしたらいいですか？
- A** 口座から引き落とせなかった場合、「口座振替不能通知」という納付書をお送りしますので、金融機関の窓口で納付してください。（郵便局では納付できません）
- Q 3** 平成10年度から口座振替で全期前納したいのですが、手続きはいつまでにすればいいの？
- A** 平成10年度1期・全期前納分の受付期限は、郵便局、金融機関とも次のとおりです。なるべくお早めにお申し込みください。
- ☆固定資産税・国民年金保険料 2月27日まで
☆軽自動車税 3月31日まで
☆市県民税・国民健康保険料 4月30日まで



16地区めぐり⑫

鑄銭司

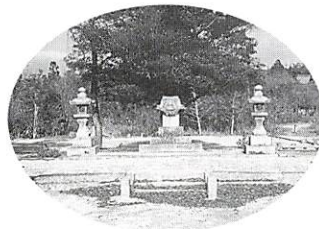
地区の名のもととなった周防鑄銭司や、江戸時代初期に小郡宰判の代官東条九郎右衛門が築造した県下第2の面積を持つ長沢池があります。

昭和31年に鑄銭司村が山口市と合併。近年、山口県セミナーパーク、産業団地として鑄銭司団地などが立地、国道2号線の改良工事も進み、交通、産業の発展が期待されています。

人口3,712人、1,002世帯(1月1日現在)



- ① 鑄銭司出張所・公民館
(☎86-2001・86-2360)
鑄銭司文化センター
- ② J R 四辻駅
- ③ 山口中央農協鑄銭司支所 (☎86-2511)
- ④ 山口県立聾学校 (☎86-2007)
- ⑤ 山口県松光園 (☎86-2075)
- ⑥ 特別養護老人ホーム梅光苑 (☎86-2056)
山口市在宅介護支援センター梅光苑
(☎86-3765)
- ⑦ 山口県消防学校 (☎86-4001)
- ⑧ 山口県セミナーパーク
県自治研修所 (☎87-1110)
県教育研修所 (☎87-1160)
県社会福祉研修所 (☎87-1310)
セミナーパーク管理財団 (☎87-1410)
- ⑨ 老人保健施設あいあい・山口
(☎86-2179)
- ⑩ 鑄銭司小学校 (☎86-2609)
- ⑪ 鑄銭司幼稚園 (☎86-2009)
- ⑫ 聖和苑 (☎86-2112)
- ⑬ 吉南病院 (☎86-2111)
- ⑭ 鑄銭司郷土館 (☎86-2368)
- ⑮ 社会福祉法人りりがくえん (☎86-2054)



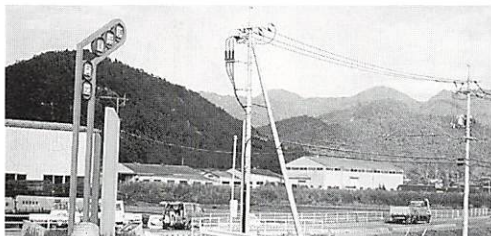
弁天社 長沢池築造後に宮島から神霊を迎え、池の守りとして祀ったお宮。池の中の鳥居も宮島になぞらえたものです。



◀ 国道2号線改良工事



▶ 黒山八幡宮



鑄銭司団地



蔵六人形 鑄銭司さつくり事業推進協議会の作。「村田蔵六(後の大村益次郎)にあやかって、勉強にいそむ方に指針と心のゆとりをもたらしてくれる人形」と説明されています。(右が萩焼で1,500円、左1,000円/公民館でも取り扱っています)

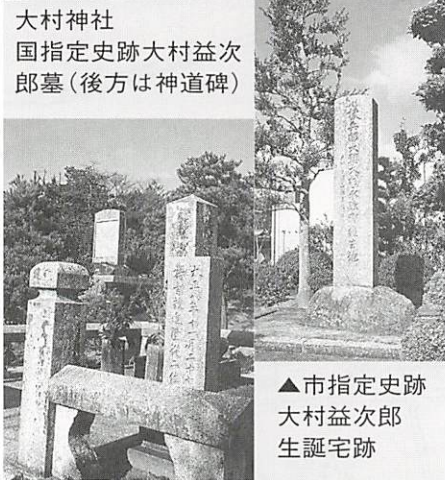
お金のふるさと

鑄銭司はお金を造る役所。鑄銭司地区の名前は、ここに周防鑄銭司があったことによつています。日本で最初にお金が造られたのは奈良時代の和銅元年（七〇八）。以後平安時代初期まで鑄銭の事業が行われませんが、その大部分は周防鑄銭司で行われました。長門

の鑄銭司から周防鑄銭司に移ったのは八二五年とされており、当初は陶の正護寺前にあったといわれています。その後鑄銭司・陶地区を二、三回移動しますが、中心となったのは鑄銭司の字大畠・四辻の現在の史跡に指定されている周防鑄銭司跡です。

うち、富寿神宝から最後の乾元大宝までの八種類で、約百五十年間にわたり日本で唯一の鑄銭司として栄えました。九三〇年の藤原純友の乱で焼かれた後も九五八年に乾元大宝を造っています。乾元大宝を最後に鑄銭事業は長い間国内で行われませんでした。その意味でも周防鑄銭司は日本のお金の歴史に大きな意味を持っています。

鑄銭司



大村神社
国指定史跡大村益次郎墓（後方は神道碑）

▲市指定史跡
大村益次郎
生誕宅跡

山口県周防鑄銭司跡

『花神』の里

大村益次郎は文政八年（一八二五）に鑄銭司の医家に生まれました。医学を学び、後に兵学をもって長州藩に仕えます。幕府の長州征伐では、防長の四境に迫る幕軍を、身についた洋式兵法で破り倒幕をはやめました。明治維新後は新政府に兵部省がつくられ兵部大輔になりました。魔刀、断髪をとえ、軍政の改革

に着手しましたが、それが旧思想の武士たちの反感をかうことになりました。明治二年九月、京都に出張中襲撃を受け、その傷のため、十一月大阪で四十五歳の生涯を閉じます。

大村益次郎を主人公にした司馬遼太郎さんの小説『花神』は昭和四十四年から四十六年まで新聞に連載され、昭和五十二年にNHK大河ドラマ化。『花神の里』鑄銭司は全国の注目を浴びました。

戦場から帰って四日目に、鑄銭村にもどった。

村の入り口に入ったときはすでに陽がたかむいたころで、屋敷のまわりの丘陵を盛りあげさせている赤松の林が片側だけ見えずみ、片側だけ赤い幹までかがやいてみえた。歳六は、この村の日暮の景色が大好きであった。

—『花神』—



内田伸さんは、『花神』連載中の昭和四十四年に山口を訪れた司馬さんに大村神社や益次郎墓所などを案内されました。『鑄銭司は初めてで、五万分之一の地図を見ながら小説を書く』と言われたのにはびっくりしました。『花神』の中で鑄銭司は日本で一番いいところと書いてもらい、こんな田舎を日本中に紹介してもらってうれしかったですね。鑄銭司は奈良・平安時代に日本で唯一のお金が造られていたところ。そして『花神』でもその名が全国に知られました。大変希少な歴史とと思います。郷土史家として幅広い活躍をされている内田さんは歴史について次のように語られます「長沢池は約三百年前に造られたため池です。鑄銭司小学校付近から益次郎の生誕地あたりまでと受益面積が広いのも、池を掘る苦労とともに、勾配を少なくして溝を掘っていった当時の人たちの努力です。書かれている歴史が有る無しに関わらず、自分のいる土地に昔から人々が住んで、今生きている人よりも大変な苦労をして歴史をつくってきたわけです。その歴史を知れば自分たちがどう生きていけばいいか自覚できると思います。」

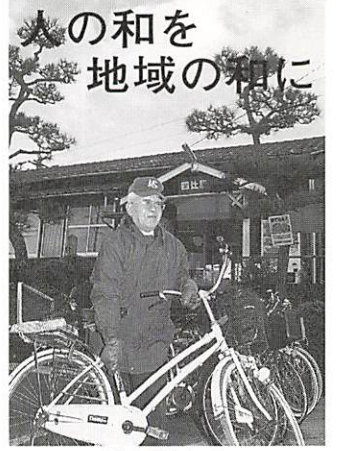


市指定史跡・天然記念物 松永周甫薬園跡と遺存植物
松永周甫は萩に生まれ、二十五歳の時に名田島に移り医業を開くかわら本草学（植物学）を志しました。諸国を旅し、各地の薬草、珍樹五百八十余种を採取し帰国後、鑄銭司の地に薬草園を拓いたのです。周甫はシーボルトに薬草の標本を送るまでになり、一代藩医としてさらに研究に励みました。

周甫はまた誰さえ手をつけない南原地区の砂原を畑にする計画を立て、砂防荒地開発に多大な貢献をしました。延べ一万二千二百人もの人夫の費用をすべて出したため、正月に子供に着せる着物もなかつたといわれています。『四方が緑の大地になる。それが晴れ着』と言っていたそうです」と松永祥甫さん。「祖父の心にあつたのは常に藩のためという気持ちでした。今その土地に聳学校や梅光苑、さらに消防学校、セミナーパークができ鑄銭司の新しい顔になっていきます。藩のため人のための開拓をした祖父の精神が生き続けていることを感じます。」



松永周甫顕彰碑



浅原浩さん

ます」。

老人クラブ活動のひとつに
鑄銭司小学校ゲートボールク
ラブの指導があります。「ゲー
トボールの指導だけでなく子
供たちにしつけなど人間教育
をとおしてもふれあっています
。家庭でもお年寄りが孫を
もう少しみてやれないか。老人だ
けでかたまるのでなく、まず地域
の一員、家庭の一員です」と話さ
れました。

JR四辻駅で毎朝午前三時か
ら駅舎や駅周辺の清掃、自転車の
整理をしておられるのは浅原浩さ
んです。「自転車の枠外駐輪が少
なくなりました。みんなで気をつ
けようという気持ちが一番うれし
いですね」。浅原さんは地区社会
福祉協議会の会長。「小地区見守
り活動が市内で最初にはじまるな
ど地区の福祉施設のノウハウが地
域の杜協活動にかさされていま
す」。各施設の運動会や盆踊りへ
の参加、聖和苑主催の三世代交流
ゲートボール大会、お年寄りに鑄
銭司小学校の児童も加わる梅光苑
の昇警音楽隊演奏会など地域と施
設の交流行事が数多く行われてい
ます。



連合会長。「黒山八
幡宮のお祭りなど古

くからの行事を守っ
ていくことで地域性も守られてい

「ボランティアグループすぎ
なの方に社協理事・福祉委員・民
生委員も加わり、毎月会議を行っ

ていることが地域ぐるみの活動に
結びついていると思います」。

設立から十年を迎えた鑄銭司
すぎなの会の会長は
兼行節子さん。
「会員は男性十人
を含めて七十二人。十年間の活動
で、施設の訪問や行事への参加、
入浴サービスやふれあい給食など
の活動も定着したと思います。鑄
銭司も本格的な高齢社会を迎えま
す。会員の半数は山口赤十字病院
の看護専門家にきていたいただいた研
修の修了生です。これからは、そ
ういうことも活かして地区内へ目
を向けた活動にも取り組まなけれ
ばと思っています」。

「スポーツは地域のコミュニ
ケーションづくりに大変役立ちま
す」と社会体育振興会の野村武人
会長。「地域、家族、
親子のふれあいがで
きるような企画を立
てています」といわれる社会体育
振興会の行事は、二十四時間ソフ
トボール、スキー体験教室からプ
ロ野球、Jリーグ、大相撲の観戦
まで実に多彩です。「去年は結局
雨になったんですが、ウォークラ
リー、グラウンドゴルフなどをし
て、後は『たなばたまつり』で親
睦を深めてもらおうという『七夕
スポーツフェスタ』を企画しまし
た。今年はニュースポーツを取り
入れてみたい」と積極的です。

「最近の仕事を持っている女
性も多い。仕事を持っていてもや
れる婦人会活動にしなければなり
ません」と鑄銭司婦人会の岡本月
子会長。「交通立哨の時、汚れた
地下道の中を通学す
る子供を見て婦人の
力で何とかしようと
話し合いました。誰の反対もなく
立哨時に掃除が始まったんです。
はじめはそんなところからでい
い。女性しか気付かない社会の仕
組みもあります。動員や販売を頼
まれるだけでなく、婦人会本来の
活動を求めていきたいと思いま
す」と話されています。

前自治会長で今も顧問として
自治会活動を支えておられる本廣
正義さんは「物事が成就するには
天の時、地の利、人
の和があると思います。あとは人
の和です。グループ活動が積極的
に行われているのは、本当にいい
ことです。また、地域のぬくもり
は家庭からです。若い奥さんが働
いていけば、おじいちゃん、おば
あちゃんも野菜を作るだけでな
く、すぐ料理ができるように準備
しておいてあげる。そんな時代に



車道山口南インター
チェンジのフルイン

ター化も計画されました。山口市
街と南部の湾岸道路を直結する県
道山口秋穂線の整備がより重要に
なったと思います。地区の特色と
しては、福祉関係の施設が多く各
施設との連携が地区のボランティア
活動の活発さに結び付いていま
す。また、生涯学習も活発です」。

「鑄銭司は古いものと新しい
ものがうまく調和した地区」とお
っしゃるのは秋山茂樹老人クラブ

「ボランティアグループすぎ
なの方に社協理事・福祉委員・民
生委員も加わり、毎月会議を行っ

「鑄銭司郷土館 周防鑄銭司から出土
した遺物や日本の貨幣の移り変わりを紹
介する実物とパネル、大村益次郎の遺
品や遺墨などを中心に展示。益次郎旧
宅を移築した潮満寺の襖の下張りから
見つかった手紙などもあります。

すよ。時の流れにさからわないこ
とが天の時でもあります。地域と
いうのは結局人の和でもつている
んだとつくづく思いますね」。人
の和。ご紹介した鑄銭司の地域の
活動は、より強い地域の和を目指
した活動です。



鑄銭司郷土館 周防鑄銭司から出土
した遺物や日本の貨幣の移り変わりを紹
介する実物とパネル、大村益次郎の遺
品や遺墨などを中心に展示。益次郎旧
宅を移築した潮満寺の襖の下張りから
見つかった手紙などもあります。



顕孝院 大内政弘が妹の妙英尼のため
に建てたのがはじまり。妙英尼没後、
九江慈淵という大和尚を招いて顕孝院
としました。寺の西の丘の観音堂は陶
ヶ岳にあった岩屋山金剛寺の観音を移
したものです。

西京高校駅伝チームが入賞報告



昨年12月21日に京都市であった全国高校駅伝競走大会で県代表として過去最高の2位に入賞した西京高校の女子駅伝チームが12月22日、市役所を訪れ佐内市長に結果を報告しました。訪れたのは浜村校長・平野監督と3区で区間賞を取った藤井幸子主将ら8人。佐内市長が「メダルを手にするまでには涙ぐましい努力があったことでしょう。今回の成果を足がかりにさらに大きく伸びてほしい」と健斗をたたえました。



たこ作りにチャレンジ

12月25日、大歳小学校で「たこ作り教室」が行われました。5・6年生の希望者55人が参加。本永里美先生をはじめ6人の先生に教えてもらいながら40センチ角の紙を切り、竹ひごを丁寧に結び合わせて骨組みを作り、はりあわせて約2時間でたこを作りました。このあと、子どもたちはあいにく風のふかなかったグラウンドで走りまわって、たこをあげていました。



皆さんの協力が大切です ～指定ごみ袋制度スタート～

1月より、山口市でも可燃ごみについての指定ごみ袋制度がスタートしました。最初の収集日となった1月5日、市内の約半分の地域でごみ収集が行われ、ごみ全体の約92%がきちんと指定ごみ袋で出されていました。「初日としてまずでしたが、約8%の違反ごみがありましたので、警告シールをはり回収しませんでした。ごみの減量化は市民の皆さんの協力が不可欠です。違反ごみについてはこれからも回収せず個別指導なども考えていますので、ご理解ご協力をよろしくお願いします」（市清掃事務所）



福祉の店「セルフやまぐち」オープン

市内の福祉施設「ふしの学園」「るりがくえん」「鳴滝園」「ひらきの里」「山口秋穂園」5施設が共同で運営にあたる福祉の店「セルフやまぐち」が道場門前2丁目にこのほどオープンしました。運営母体となるのは5施設の障害者の親で構成する「山口市手をつなぐ親の会」（会長 岡山久代さん）で、商工会議所が主催する空き店舗対策の一環として、この程応募・出店されたものです。商品は陶器、木工製品、手工芸品など各施設で製作したものが中心で、同店ではハンディを持った人たちへの理解が深まれば、と期待を寄せています。



おもなできごと（12/21～1/8）

- 12月**
- 21日 ★第9回全国高等学校駅伝競走大会（京都）
 - 22日 ★南消防署高規格救急車愛称命名式
 - ★西京高校駅伝チーム入賞報告
 - 23日 ★福祉の店「セルフやまぐち」オープン
 - 24日 ★市内小・中学校終業式
 - ★市民無料法律相談
 - ★市政懇談会
 - 25日 ★たこ作り教室（大歳小学校）
 - 26日 ★公務納め
 - 29日 ★山口ふれあい広場「しめなわ朝市」
- 1月**
- 1日 ★新春登山（方便山、涼山、鴻の峰、朝日山）
 - 4日 ★山口市消防出初式
 - 5日 ★公務始め
 - ★指定ごみ袋制度開始
 - 8日 ★市内小・中学校始業式

南消防署に「あんしんくん」

高規格救急車「あんしんくん」が山口・小郡消防組合南消防署に配備されました。高規格救急車は救命救急士が医師の指示を仰ぎながら応急処置ができるもので、平成8年3月に中央消防署に配備された「きゅうめいくん」に続くものです。これまでの山口赤十字病院、済生会山口総合病院に加え、小郡第一病院とも連携しながら救急活動を行います。



12月22日、南消防署（小郡町）で行われた愛称命名式では、41点の応募から最優秀となった岡田貞義さん（大内御堀・写真右）が佐内正治管理者から記念品を贈呈され「信頼と安堵が託せるような救急車であってほしい」と命名の理由を話されました。

「あんしんくん」の購入価格は4,145万円、1月1日から本格的に運用されています。

命名式の後「あんしんくん」を使って模擬訓練

新しい年の幕開けです

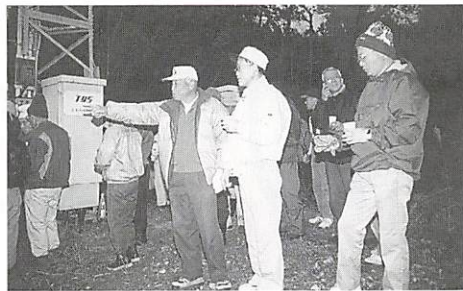
元旦の恒例行事となっている新春登山。今年も方便山（仁保）、涼山（宮野）、鴻の峰（白石）、朝日山（秋穂二島）で開催されました。

今年はいにくの天気ですが、初日の出を見ることができなかったものの、山に登られたみなさんは新しい年を迎えたことを実感され、決意を新たにされていました。



▲方便山からの眺め

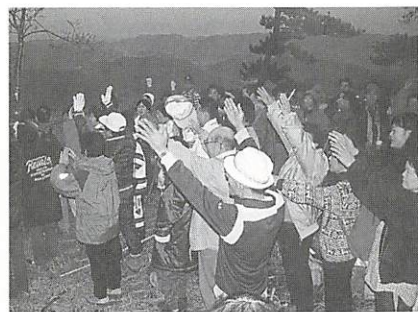
▼方便山にて



▲朝日山にて



▼鴻の峰にて



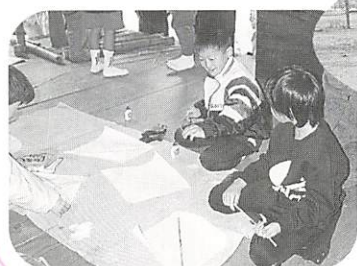
▲涼山にて

モニター
短 信

12月の第2土曜日、春日老人クラブの人たちとその地域の子供達とのたこ作りがありました。少し寒かったのですが、それでも元気いっぱいの子供が集まっていた。低学年が多かったため、竹ひごは老人クラブの人達がカッターやナイフで削ってくれました。あとは自分達で紙にひごをはりつけ、手や足をつけ、キリで穴をあけ、糸を通して自分流のりっぱなたこが出来上がりました。風がなかったのですがたこは空高く舞い上がり、みんな大喜びでした。

核家族化や少子化が進む現在、老人クラブの人達と子供達のふれあいは、とてもすばらしいあたたかいものがありました。出来不出来は別として、自分で作り自分であげるとても自信がついたのではないのでしょうか。これからもいろんなことにチャレンジして、たくましくそして思いやりのある陶っ子に成長してください。

陶地区広報広聴モニター 井本睦子さん



あがれ、あがれ！！



よーい、スタート！！

自分なりに風をきって走ろう！ゴールに着いたらみんなでおしるこだよ！のキャッチフレーズで小鯖体育協会主催の第7回おさばおしるこマラソンが11月30日小鯖小学校グラウンドをスタート・ゴールに行われました。2kmコース、3kmコース、5kmコースの3種類があり、自分にあったコースを男女、年齢に関係なく選んで参加することができます。大会は79歳の石川忠男さんの力強い選手宣誓で幕があき、今年も幼稚園児から79歳のおじいさんまで111名の参加でした。2kmコースは一家全員で励ましあいながら走るほほえましい家族、スポーツ少年団の団体参加、日頃のジョギングの成果をみる人、運動不足気味解消のためのお父さんお母さん方の参加が多かったようです。5kmは記録に挑戦する真剣な力強い走りでも自分の目的をそれぞれに持って走るマラソン大会になりました。参加者全員、自己ベストを出しての完走でした。

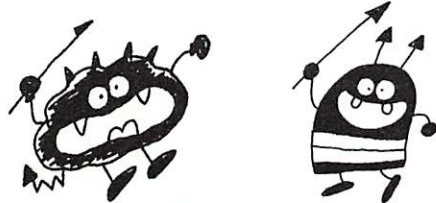
ゴールに着いたらおいしいおいしいあったかいおしるこをいただきました。疲れた体に甘いおしるこはとてもおいしかったです。あつというまに何個ものお鍋の底が見えてきました。そののち各部門別の表彰式を行い、互いの健闘をたたえて終了しました。

ひそかに新年に向けての決意の声も聞こえてきましたよ。また頑張りましょう！

小鯖地区広報広聴モニター 中原節子さん

かぜ

にご用心！



こんなときに
かぜをひきやすい

かぜをひきやすくなるのは、主にまわりの温度変化に対して体温調整がうまくいかなかったときだといわれています。また、特に次のようなときにひきやすいので普段から気をつけるようにしましょう。



寒いとき

寒いときは鼻やのどの粘膜の血管が収縮して血液の流れが低下し、細胞の働きが鈍くなってウイルスの侵入を防ぎきれなくなりま

冷暖房の効きすぎ

「寒いとかぜをひきやすいから」と暖房をかけすぎるのは良くありません。冷暖房が効きすぎていると、体温調節がうまくいかなくなるのです。冷房、暖房の温度はほどほどにし、できるだけ周囲

の温度環境に体を慣らすようにしましょう。

薄着や裸のまま

風呂上がりなどで体が暖まると、つい薄着や裸のままです。ところが体はすぐに冷えてきて、かぜをひきやすくなります。早めに衣類を身につけるなどして、保温に務めま

疲れや気のゆるみ

疲れていたり、気がゆるんでいたりとすると、体の抵抗力が弱まるとともに、体温調節機能が低下します。これもかぜをひく重大なきっかけの一つです。極度の過労や睡眠不足、休日前の気のゆるみなどのないよう

うたたね

私たちの体は眠っているときは体温調節機能が低下してしまいます。眠くなりそうな時は、あらかじめ服を着込んだり、毛布の準備をするなどしておきましょう。特に子どもやお年寄りのうたたねには気を配りま

かぜをひいたかな？と思ったら…

安静

栄養

保温

水分

加湿

特に気をつけましょー！

こども

こどもは自分の体調をうまく伝えられない場合が多いものです。中耳炎、肺炎などを起こしやすいので、かぜの進み具合に注意し、日頃からよく様子を見て、早く気づいてあげましょー。また、熱が出たときも、副作用を起こすことがあるので解熱剤をむやみに使わないようにして、必要な場合には早めに医師に相談するようま

お年寄り

お年寄りは、一般的に気管や肺などの抵抗力が低下しているため、気管支炎、肺炎を併発する恐

れがあります。また、お年寄りの肺炎は熱やせきのような症状が現れにくいので、本人が気づかないうちに肺炎にかかっていることがあります。いつもと様子が違うときには医師に相談するようま

妊娠中の方

胎児に影響を与える場合があるので、むやみに薬を服用せず、医師に相談ましょー。また、妊婦さんや赤ちゃんを持つお母さんは、日頃からバランスのとれた食事や規則正しい生活を心がけ、かぜに対する抵抗力をつけておくことがなによりも大切です。

募集コーナー

お父さんのための
元気になるゼミナール

「何かやらなくては、とわかつちやいるけど…」こんな悩みをお持ちのお父さん、ストレスを解消して元気になろう!

- 場所 サンフレッシュ山口
- 対象 男性(既婚、未婚、子どもの有無は問いません)
- 募集人員 25人(先着順)
- 受講料 2,000円
- 申し込み 1月20日までにサンフレッシュ山口(湯田温泉五丁目5-22/☎33-0001)へ



日時	内容	講師
1/24(土) 14~16時	開講式・オリエンテーション 講義「魅力のある話し方」	FM山口アナウンサー 新井道子氏
1/31(土) 14~16時	講義 「地球環境教室」	消費生活アドバイザー 島添美葉子氏
2/14(土) 11~13時	実習「手打ちうどんに挑戦」 お父さんの手づくりの味	門田政春氏
2/28(土) 14~16時	実技 「ニュースポーツって何?」	
3/7(土) 15~17時	講義「お酒教室」 日本酒・ワイン・地ビール研究	山口呑吞童子代表 村田充利氏 ワインバー・アルバージュ 脇山貴子氏
17~19時	閉講式・懇親会	

山口市観光ボランティア
ガイド養成講座

日時	内容	講師
2/7 (土)	山口市の観光の概要 と現況	市商工観光課 課長 鈴木健二
2/14 (土)	山口の歴史 (大内氏と山口)	大内文化研究会 代表
2/21 (土)	山口の歴史と史跡 (大内文化現地学習)	山本一成氏
2/28 (土)	山口の歴史 (毛利氏と山口)	市歴史民俗資料館 名誉館長 内田伸氏
3/7 (土)	山口の歴史と史跡 (文化財等現地学習)	
	入会説明	市観光ボランティア ガイドの会 会員

- 時間 午後1時30分~3時30分
- 場所 山口ふるさと伝承総合センター(下堅小路12)
- 対象 講座終了後、ボランティアガイドの会に加入し、活動(五重塔周辺で土・日・祝祭日に月1回程度の参加)ができる人
- 受講料 無料
- 申し込み 1月17日から山口ふるさと伝承総合センター(☎28-3333)へ

2月2日から郵便番号が7桁になるのに伴い、個別郵便番号制度が拡充されます。この制度は、郵便物に個別郵便番号を記入すれば、所在地の記載を省略することができます。

山口市役所の個別郵便番号は「753・8650」です。この郵便番号を記入すれば、市役所の所在地「山口市亀山町2-1」は省略できます。

753-8650

山口市役所

〇〇〇課行き

◀記入例(所在地の記載は不要)

◎市役所本庁以外(出張所など)の個別郵便番号はありません。各所在地の郵便番号と所在地を記入してください。(所在地記載の省略はできません)

市役所あての郵便は
「753-8650」
で送ると便利です



違えますと、郵便物は到達しませんので、記入の際にはご注意ください。(所在地を記載しておけば、万一番号を間違えても配達されます)

住吉大社参詣と大阪城見学

第150回文化バス

○期日 1月25日(日)～26日(月)

○時間 午前7時出発／翌午後8時30分帰着予定

○行程 山口市民会館小ホール前・小郡駅・山陽・中国・近畿・阪和自動車道・住吉大社・仁徳天皇陵・住吉大社・大阪市内(泊)・四天王寺・大村益次郎殉難碑・大阪城・近畿・中国・山陽自動車道・山口・小郡

○募集人員 120人

○参加料 大人 31,000円

○申し込み 1月17日(土)午前8時から、山口交通局(第二種旅行業知事登録第2,44号/☎22・2555)へ

○講師 郷土史家・内田伸氏

○申し込み 1月17日(土)午前8時から、山口交通局(第二種旅行業知事登録第2,44号/☎22・2555)へ

○申し込み 1月17日(土)午前8時から、山口交通局(第二種旅行業知事登録第2,44号/☎22・2555)へ



女性の能力活用 支援セミナー

- 期日 2月3・5・10・12日
- 時間 日中：午前10時～正午／夜間：午後7時～9時
- 場所 サンフレッシュ山口(湯田温泉五丁目5-22)
- 講習科目 就業に関するミニ講座(税・育児支援・保険と年金・ビジネスマナー)、パソコン入門講座(Windows95、一太郎)
- 対象 市内在住の就業を志している女性
- 受講料 無料
- 募集人員 各コース20人(応募者多数の場合は抽選)
- 申し込み 1月25日までに、市商工観光課(☎22-4111)へ

コーラスグループ 「木犀」へのお誘い

コーラス大好きの仲間が集まって12年。「木犀」の花のようにふくよかなハーモニーをと願いつつ歌っています。今年は金子みすずの詩情あふれる世界に取り組みます。貴女も一緒に楽しみませんか？

- 日時 毎月第1～3水曜日、午後1時20分～3時30分
- 場所 白石公民館視聴覚室
- 曲 “金子みすず”より「砂の王国」「海とかもめ」ほか
- お問い合わせ 白石公民館(☎22-0381) または 小杉さん(☎24-9023)へ

山口市公営施設 管理公社職員募集

○採用予定日 平成10年4月1日

○採用予定人員 男子若干名

○業務内容 公共施設の管理業務

○応募資格 58～60歳までの方(3月末日までに退職予定の者を含む)で、63歳まで働くことのできる人

○応募方法 市販の履歴書に写真を張り、自筆で記入、押印したものを持参(あらかじめ電話連絡をしてください)

○受付・説明期間 1月30日までの月～金曜日、午前9時～午後4時の間

○問い合わせ (財)山口市公営施設管理公社(上野小路89・1/山口しあわせプラザ内☎28・7899)へ

分別収集 (2月分)

4日	殿石田 大白湯
11日	祭日のため お休み
18日	保 鱈敷歳 仁 小吉大
25日	陶 鑄銭司 名田島 秋穂二島 嘉 川山 佐

※当日の朝6時30分から8時30分までの間に、各町内のコンテナ(回収箱)へご持参ください。



児童扶養手当・特別児童扶養手当の制度があります

【児童扶養手当】

18歳未満の児童(18歳に達する日以降の最初の3月31日まで)、または障害のある20歳未満の児童を養育している母子家庭の母・養育者に、次の場合支給されます。

- ・父母が離婚したとき
- ・父が死亡・生死不明のとき
- ・父に重度の障害があるとき
- ・父から1年以上遺棄されているとき
- ・父が1年以上拘禁されているとき
- ・未婚の母の子であるとき

【特別児童扶養手当】

身体・精神に障害のある20歳未満の児童を養育されている父母・養育者に支給されます。

☆児童が施設に入所しているときは、支給できません。

※どちらの手当も、一定の所得を超えているときは支給停止となります。

○問い合わせ

市児童家庭課児童福祉担当 (☎22・4111) へ

募集コーナー

ソシユアルダンス教室

- 日時 1月23日～3月27日までの毎週金曜日、午後7時30分～9時
- 場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
- 講師 (財)日本ボールルームダンス連盟1級指導者・釘崎信顕、4級指導者・小野早苗
- 募集人員 40人(先着順)
- 受講料 2,000円
- 持参品 体育館用シューズ、汗拭き用タオル
- 申し込み 1月19日から山口南総合センター(☎32-8333・小郡72-8333)へ

榎野川の野鳥観察講座

- 日時 2月1日(日)・8日(日)、午前10時～正午
- 場所・内容
 - ・2月1日/山口南総合センター:ビデオなどによるお話(筆記用具、鳥類図鑑)
 - ・2月8日/榎野川大橋周辺:バードウォッチング(筆記用具、鳥類図鑑、双眼鏡または望遠鏡)
- 募集人員 30人(先着順)
- 参加料 無料
- 申し込み 1月19日から山口南総合センター(名田島1218-1/☎32-8333・小郡72-8333)へ

市民スキー講習会

- 日時 2月11日(水・祝)午前6時 山口市民会館前出発/午後7時帰着予定
- 場所 八幡高原191スキー場(広島県山県郡芸北町)
- 講習編成 初心者・中級者・上級者(小学4年生以上)
- 講師 全日本スキー連盟指導員・杉本耕二さんほか
- 募集人員 40人(先着順)
- 参加料 6,000円
- 申し込み 申込用紙に代金を添えて、山口市スキー連盟(吉敷3201/スポーツショップスギモト内☎32-1234)へ
- ※中止の場合は2月9日(月)正午に決定し、連絡します。
- ※レンタル希望者は事前に申し込んでください。



山口県立盲学校 入学検査・仮入学

- 学部(学科) 幼稚部・小学部・中学部・高等部(本科普通科・本科保健医療科・専攻科理療科・専攻科保健医療科)
- 出願期間 2月2日～13日
- 実施期日 2月27日(金)
- 場所 山口県立盲学校
- 問い合わせ 山口県立盲学校(下関市幡生町一丁目1-22/☎0832-32-1431)へ

冬期市民 ハンドボール大会

- 日時 2月11日(水・祝)午前9時開会
- 場所 山口県スポーツ文化センターアリーナ
- 対象 市内に在住または通勤・通学している人
- 参加料 無料
- 種別・試合方式 当日決定
- 申し込み 2月7日までに山口市ハンドボール協会事務局・山崎慎二さん(山口高等学校内☎22-8511)へ

平成10年度 消費生活モニターの募集

- 応募資格 20歳以上の一般消費者
- 任期 4月～平成11年3月末日
- 内容 モニター研修会(年2回)への出席、アンケート調査への回答、意見や情報の提供など
- 謝礼 年額12,000円(予定)
- ※研修会への出席旅費等は、委員会で負担します。
- 募集期間 2月6日(消印有効)
- 申込方法 市生活環境課(☎22-4111)または山口県消費生活センター(葵二丁目6-2)備え付けの申込書で、下記のところへ
〒730 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館 公正取引委員会事務総局中国支所取引課(☎082-228-1501)へ

2月の不燃物収集日

2日(月)	仁保
3日(火)	上金古曾・下金古曾・上古熊・古熊・八幡馬場・天花・木町
4日(水)	吉敷
5日(木)	小鯖
6日(金)	大歳
9日(月)	野田・大殿大路・上堅小路・(上・中・下)後河原・下堅上・大市諸願・太刀売・西滝・東滝・久保小路・新馬場・銭湯小路・相物小路・松の木町
10日(火)	嘉川
12日(木)	佐山
13日(金)	名田島・秋穂二島
16日(月)	中河原・天神通り・西惣太夫・東惣太夫・今小路・新天街・新丁・新道・早間田・新町・中市・米屋町・御局小路
17日(火)	陶・鑄銭司
18日(水)	今道・大附・今市・(上・中・下)清水・荒高・東糸米・西糸米・田町
19日(木)	鑄石・(上・中・下)道場門前・東白石・西白石
20日(金)	大内
23日(月)	一本松・前町・湯屋町・角下市町・熊野
24日(火)	三和町・中讃井・竜王町・西朝倉
25日(水)	宮野
26日(木)	朝倉中央・東朝倉・泉町・元町・元町西
27日(金)	平川

※乾電池・蛍光灯は、最寄りの出張所または市役所前の回収箱へ

編集後記

▽鹿児島紅梅が例年より早く真紅な色で咲いた。日だまりの枝の小梅もつぼみを付けている。春はまだかな？

▽椿(クワ科)、茸がはえて雑煮にして食べたが、なんともいえない味。田舎はいいなあと、正月に帰って来た弟たちが今年も言った。

▽私の成人式は、県下の代表が県陸上競技場で、市の式典は県の体育館で挙行された。満席で、静かに来賓の方々の挨拶をかみしめて聞き、成人したことを自覚したものだ。今はどうなっているのか！

○日時 1月28日(水) 午後1時半(1時受付開始)

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士

○問い合わせ 市広報広聴課

市民法律相談

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務所(☎22-11590)で常時受け付けています。

※ご相談に際しては、詳しい書類(登記、契約書など)を持参してください。

健康コーナー

休日当番医変更

1月17日(土)吉南医師会の当番医に変更がありました。

- 内科系
 - ・変更前 河端内科
 - ・変更後 林病院(☎小郡72-0411)
- 外科系
 - ・変更前 三隅外科
 - ・変更後 林病院(☎小郡72-0411)

催し物とお知らせ

市役所および水道局の建設工事等の指名競争入札参加資格申請の追加受付

- 参加資格 建設業法第3条の許可業者で、同法第27条の23の経営に関する事項の診査を受けている者のほか、測量業者、建設コンサルタント、地質調査業者、補償関係コンサルタントで、昨年2月・8月に資格審査の申請をしていない者・業者であること
- 受付期間 2月2日～3月2日
- 問い合わせ
 - ・市工事検査課(☎22-4111)
 - ・市水道局検査室(☎22-0004)

還付申告は

1月から受け付けます

今年の所得税の確定申告は2月16日～3月16日までですが、源泉徴収された所得税について、マイホームをローンで所得した場合や多額の医療費を支払った場合などは、1月から受け付けています。

これらの申告は郵送でも受け付けますので、自分でお書きになって、早めに申告を済ませましょう。

- 問い合わせ 山口税務署(☎22-1340)へ

電話加入権の公売

市税・国民健康保険料の滞納により差し押さえた電話加入権を、入札により公売します。

- 日時 1月30日(金)午前9時40分から
- 場所 市役所3階第5会議室
- 持参品 印鑑、身分証明書(運転免許証など)、入札予定金(50,000円以上・消費税別途)
- ※本人以外の方が入札する場合は、委任状が必要です。
- 公売する加入権 1件
- 問い合わせ 市収納課(☎22-4111)へ
- ※市税等の納入により、当日公売を中止することがあります。ご了承ください。

雇用環境改善フォーラム

- 日時 2月17日(火)午後1時30分～3時30分
- 場所 ニューメディアプラザ山口(熊野町1-10)
- 内容 講演「新しい需要創造とビジネスチャンス」、支援制度活用事例、意見交換など
- 定員 150人
- 参加料 無料
- 申し込み 1月30日までに、電話で雇用促進事業団(☎32-1010)へ
- ※各種相談コーナー(無料)もあります。

シルバー人材センター入会説明会

- 日時 1月20日(火)午後2時から
- 場所 山口しあわせプラザ(上堅小路89-1)
- 内容 入会手続きの説明やビデオ上映など(1時間程度)
- 対象 市内在住でおおむね60歳以上の健康な方
- 問い合わせ (社)山口市シルバー人材センター(☎24-5396)へ

第4回Vリーグ男子バレーボール山口大会

- 日時 1月23日(金)午後5時試合開始
- 場所 山口県スポーツ文化センターアリーナ
- 対戦カード 第1試合:新日鐵-住友金属/第2試合:JT-富士フィルム
- 入場券(カック内は前売り)
 - ・指定3,500円(3,500円)
 - ・一般2,700円(2,200円)
 - ・高校生1,500円(1,000円)
 - ・小中学生1,000円(500円)
- 問い合わせ 山口市バレーボール協会・佐賀正櫻さん(☎27-5378)へ

心身障害児の療育相談

- 日時 2月12日(木)午後1時30分～4時30分
- 場所 山口県身体障害者福祉センター(八幡馬場36-1)
- 対象 心身に障害がある(疑いも含む)乳幼児とその保護者
- 相談担当者 小児科、精神科、整形外科の医師ほか関係者
- 持参品 母子健康手帳
- 申し込み 市高齢障害課(☎22-4111)へ

水道管の冬支度はもうお済みですか?

寒さが厳しくなり、夜明けなど氷点下になると、水道管や蛇口の中が凍り、器具が破損したりひび割れたりします。

露出した水道管や蛇口に発泡スチロールの保温カバーをして、寒さに気をつけましょう。

◆凍ったとき急に熱湯をかけると、破損したり蛇口を傷めることがあります。

◆破損したときは、元栓(止水栓、内バルブ)を締めて、市水道局(☎22-0004)または市水道局指定業者にご連絡ください。

井戸水の 水質検査について

山口健康福祉センターでは、井戸水の水質検査を実施しています。新しくボーリングなどをされた方や、臨時・定期の検査を依頼される方は、左記の要領で実施されるよう、お知らせします。

- 検査受付 毎月第3火曜日(祭日の場合は翌日)

- 受付時間 午前9時～11時
- 手数料 一般検査(細菌検査を含む12項目) 5,550円

○採水容器の貸し出し 検査は専用の容器で行いますので、検査受付日の前日までに山口健康福祉センター環境保全課までお越しください。

- 結果通知 約10日間で郵送でお知らせします

- 問い合わせ 山口健康福祉センター(☎32-4545)へ
- ※左記でも同様の検査を行います。(月)金曜日/金曜日は午前中まで)

- ・(財)山口県予防保健協会(吉敷3243 ☎33-0018)
- ・(有)アド水質分析センター(吉敷3507 ☎32-7480)

